

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100385		
法人名	有限会社ユーネットワーク		
事業所名	グループホームみわ		
所在地	長野県長野市三輪2-2-38		
自己評価作成日	平成 25年 9月 25日	評価結果市町村受理日	平成 25年 11月 29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaisokensaku.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kihontrue&jyogovoyCd=2090100385-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	平成 24年 10月 18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>【さくらユニット】</p> <p>・入居者の方たちが、日々笑顔で過ごしていただけるような、質の高い認知症ケアの実践を目指しています。職員同士で話し合う機会を多く持ち、いろいろな意見やケアのアイデアを出し合うようにしています。出し合った意見を元に、より良いケアを模索し、サービスの提供を行なっています。また、今年度は職員研修への参加の機会を増やすようにし、職員のスキルアップにも取り組み始めています。</p> <p>・協力医療機関や、訪問看護ステーションへのこまめな報告と相談を心がけています。医療機関との連携を強化することで、入居者の方がお元気で生活を送られるよう取り組んでいます。</p> <p>【こぶしユニット】</p> <p>利用者一人ひとりの尊厳を重んじながらも家族的な雰囲気を作りながら、家族のように大切な人たちであると意識しケアに臨んでいます。日々の生活の中でいかに「その人らしさ」を尊重した支援が出来るのか、どのようにしたら利用者の持っている力を発揮でき「生き生き」と暮らすことが出来るのかを日常生活の共有者として、常に考えていくことを職員個々が意識しケアの質を向上させることが利用者の「生活の質」に繋がると目指し努力しています。また、その利用者の家族も大切にすることを心掛け利用者との懸け橋となり繋がりを密にし地域との連携を取りながら多くの関係者との関わりの中で支援できるようにしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>長野市街地から郊外へと北東に伸びる幹線道路沿いに商業施設や警察署、病院があり、その通りが少し入ると3階建てのうぐいす色のビルがあり、1階は有料老人ホーム、2階・3階が当ホームとなっている。年1回ではあるが利用者は行きたい場所へ職員と二人で出かけている。季節に合わせて仲間との外出もあり、家族を誘っての日帰り旅行の企画もある。今年は上越方面に出かけ、ホテルで昼食をとり、海を見たり、水族館にも寄ってきた。「海だ〜」と感動し非常に喜ばれたという。外出となると車椅子を使う利用者が半数となるため、毎回、法人の他の施設の職員が応援に来ており、利用者が存分に楽しめるよう配慮している。90歳以上が10名、平均年齢88.4歳の利用者は毎月、協力医の往診を受けている。協力医と1階有料老人ホームの看護師とは24時間何時でも連絡・相談が可能である。体調に変化があれば職員と医師・看護師が連携し対応している。重度化や終末期支援についても本人・家族が安心してその時を過せるよう全職員で支援している。全利用者が日中は布パンツで過しており、失敗は本人にとってストレスにつながることを理解し、利用者一人ひとりの特徴を職員が共有し、失敗しない対応に努めている。スプリンクラーをはじめ防災設備も整い、災害訓練も定期的実施している。消防署はもちろんのこと、区長他、地域住民も協力的である。居住する階が2階と3階であり、身体機能の低下した利用者のために非常階段の横に避難用滑り台も設置している。利用者家族からは「家族以上に本人を理解し個人を尊重して頂きありがたい」、「感謝している」などの言葉が寄せられている。縁あって利用した一人ひとりが残された人生を豊かに過せる場所を提供してから今年で3年目を迎えており、ホームの所在地名である「三輪」の名に相応しく、利用者、家族そして職員の三者が円陣を組んで支え合っている。そんな三つの輪が自然に浮かんでくるホームである。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(さくら)

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(こぶし)

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		